

# 介護支援専門員のための 緩和ケア研修会

終末期のがん患者さんは身体機能が急激に低下します。

患者さんが病院から退院して在宅や施設での療養を開始するとき、在宅療養していた方が病気の進行で生活の困難さが出てきたとき、個別性に合わせた介護サービスが提供できるよう、介護支援専門員の役割が重要となります。

本研修では、介護支援専門員が終末期のがん患者さんのからだの状態や気持ちのあり方を理解し、がん患者さんがケアを希望したときに適切なケアが提供されるよう介護支援専門員のスキルアップを目的としています。

日時

令和  
2年

1月9日

木

14:00~16:00  
(開場 13:30)

場所

千葉県庁 本庁舎 5階大会議室 (千葉市中央区市場町1-1)

対象・定員

介護支援専門員、がん患者の緩和ケアに関心のある介護関係者等 (100名)

内容

講師 さくさべ坂通り診療所 院長 **大岩 孝司** 氏  
一般社団法人千葉県訪問看護ステーション協会  
会長 **権平 くみ子** 氏



本研修会では、県で作成した「介護スタッフのための緩和ケアマニュアル」をテキストとして利用します。タイトルは「介護スタッフ」となっていますが、緩和ケアに関わるすべての専門職が理解すべき事項を平易にまとめた内容となっています。

(注) 本研修会は、「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成30年5月9日改正)に基づく研修会ではありません。

申込み

裏面をご確認いただき、1/7(火)までに FAX またはメールにてお申込みください。

